

歯周病予防事業 問診結果について

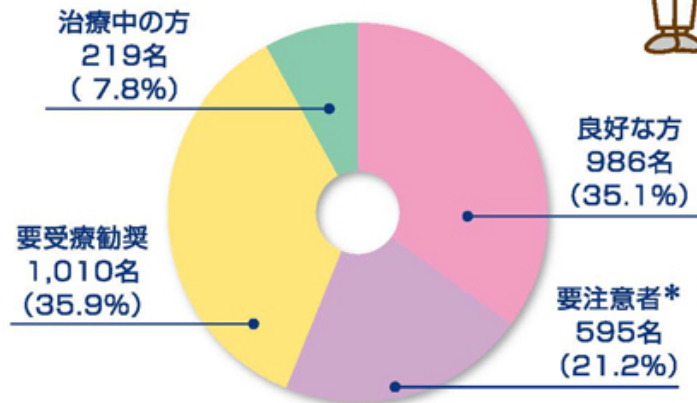


昨年秋に実施しました歯周病予防事業における問診結果について、ご報告いたします。

問診を返信いただいた方は、
男性1,148名（平均年齢51.8歳）、
女性1,662名（同48.2歳）、
合計2,810名（同49.6歳）でした。

総合結果

良好な方 986名 (35.1%)
 要注意者* 595名 (21.2%)
 要受療勧奨 1,010名 (35.9%)
 治療中の方 219名 (7.8%)



*「要注意者」とは、歯周病の初期の症状や発症リスクを持っている方で定期的に医療管理が必要と思われる方

問診の結果から、受療が必要と判定された方は4割弱（1,010名）でした。そのうちの7割弱の方は、進行した歯周病によくみられる「歯ぐきが下がって歯の根元が出ている」（680名）で要受療勧奨の判定を受けています。（歯周病以外の原因である場合もありますが、個人での判断は難しく、精密検査のための受療が必要であることから「要受療勧奨」としています）

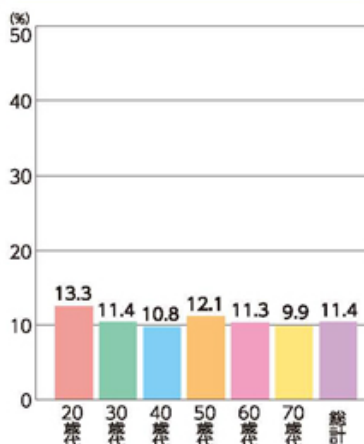


歯周病の自覚症状

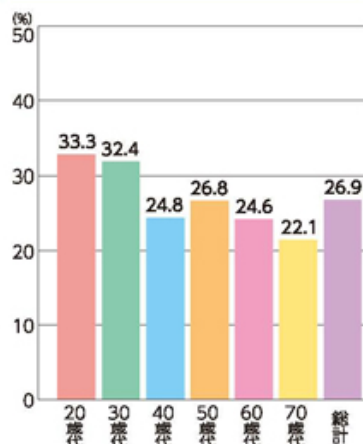
自覚の割合が高いのは、視覚的にわかりやすい「歯を磨いた時に血が出る」、「歯ぐきが下がって歯の根元が出ている」です。自覚があることや「これまでに歯科医院で歯周病と言われたことがある」の割合と、「治療中の方」の割合に差が大きく、歯周病と言われても治療に掛かっていない方が多く見受けられました。

自覚症状

歯ぐきが腫れている



歯を磨いた時に血が出る



歯ぐきが下がって
歯の根元が出ている

